

「第44回国際化学オリンピック アメリカ大会」代表候補決定！

「夢・化学-21」委員会^{*}と日本化学会は、この度、世界の高校生が化学の実力を競い合う『国際化学オリンピック』における日本代表の座を目指す代表候補生徒27名を決定いたしました。

代表候補生徒は、今年7月から8月にかけて行われた『全国高校化学グランプリ2011』の参加者3,049名のうち、高校1・2年生、中学3年生を対象に選出された21名、日本化学会支部から推薦された1名、山形大学と日本化学会東北支部が実施した「がんばろう、東北」枠選考試験から選出された5名を含む以下の27名です。今後実施される強化訓練・選抜試験を経て、最終的に4名が日本代表生徒として選ばれ、来年7月にアメリカで開催される『第44回国際化学オリンピック アメリカ大会』に出場します。

^{*} 公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

オリンピック代表候補生徒（27名）

氏名	フリガナ	高校県名	学校名	学年	性別
稲生 宏泰	イノウ ヒロヤス	東京都	筑波大学附属高等学校	2	男性
大野 雅央	オオノ マサヒロ	神奈川県	栄光学園高等学校	2	男性
大村 啓貴	オオムラ ヒロタカ	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	2	男性
岡本 浩一	オカモト コウイチ	大阪府	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	1	男性
岡本 泰平	オカモト タイヘイ	大阪府	大阪星光学院高等学校	2	男性
加藤 雄大	カトウ タケヒロ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	2	男性
金子 博人	カネコ ヒロト	宮城県	宮城県宮城第一高等学校	2	男性
川口 京	カワグチ ケイ	鹿児島県	ラ・サール高等学校	2	男性
桐原 正隆	キリハラ マサタカ	茨城県	茨城県立水戸第一高等学校	2	男性
工藤 章太郎	クドウ ショウタロウ	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	2	男性
小林 優真	コバヤシ ユウマ	東京都	東京都立西高等学校	2	男性
重田 太郎	シゲタ タロウ	神奈川県	浅野高等学校	1	男性
澁谷 亮太	シブヤ リョウタ	大阪府	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	2	男性
島岡 佑典	シマオカ ユウスケ	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	2	男性
島本 賢登	シマモト ケント	広島県	広島学院高等学校	2	男性
副島 智大	ソエジマ トモヒロ	東京都	立教池袋高等学校	2	男性
高橋 悠哉	タカハシ ユウヤ	北海道	北海道札幌北高等学校	2	男性
中村 悠治	ナカムラ ユウジ	青森県	国立八戸工業高等専門学校	2	男性
野々村 拡張	ノノムラ ヒロノブ	兵庫県	灘高等学校	2	男性
藤原 一暁	フジワラ カズアキ	大阪府	大阪星光学院高等学校	2	男性
古林 舜平	フルバヤシ シュンペイ	兵庫県	灘高等学校	2	男性
増田 成希	マスダ ナルキ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	1	男性
水谷 和寿	ミズタニ カズトシ	兵庫県	灘高等学校	1	男性
桃野 幸文	モモノ ユキフミ	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	2	男性
安永 竣	ヤスナガ シュン	東京都	開成高等学校	2	男性
山角 拓也	ヤマカド タクヤ	兵庫県	灘高等学校	2	男性
吉水 勇太	ヨシミズ ユウタ	東京都	創価高等学校	2	男性

<参考資料>

◆国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)とは

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の学力コンテストから発展した、1年に1度開催される高校生の「化学」の国際大会。今年行われたトルコ大会(アンカラ)には、70カ国・地域から273名の高校生が参加しました。

大会は通常、毎年7月に10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験問題と筆記問題が出題され個人戦として競われます。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。

日本は2003年のアテネ大会より参加しており、2004年のドイツ・キール大会から8年連続で参加生徒全員がメダルを獲得しています。

「第44回国際化学オリンピック アメリカ大会」URL: <http://www.icho2012.org> ※英語サイト



◆全国高校化学グランプリとは

全国の中高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高め、世界にも通用する若い化学者を育成することを目的に、「夢・化学-21」委員会と日本化学会が1998年に東京と仙台の2カ所で試験的に実施した『高校化学グランプリ』がはじまりです。翌1999年からは、『全国高校化学グランプリ』として会場も全国に広がり、化学の競技会として毎年開催されるようになりました。2011年のグランプリには3,049名の中高生が参加しました。なお、『国際化学オリンピック』に出場する日本代表生徒は、『全国高校化学グランプリ』の成績優秀者を中心に選出されています。

◆「夢・化学-21」委員会について



「夢・化学-21」委員会は、化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を目的に1993年に発足しました。同委員会では、日本の将来を担う小中高生を主な対象とした活動を展開。全国高校化学グランプリの他、化学の面白さや不思議さを通じて、化学技術の重要性や化学製品の有用性を知って貰うため「子ども化学実験ショー」や、科学館での「実験教室」などを行っています。

◆2011年は『世界化学年』



2011年は、国連で定められた『世界化学年』にあたります。“Chemistry—our life, our future”をテーマに、各国・地域で世界化学年を記念した多様なイベントが開催されています。日本でも、“化学”という私たちの生活に密着した分野の驚きや魅力を知ってもらうことを目的にした様々な企画が実施されています。

お問い合わせ先

公益社団法人日本化学会 : 大倉、遠藤 TEL 03-3292-6164 FAX 03-3292-6318

一般社団法人日本化学工業協会 : 井上、高橋 TEL 03-3297-2555 FAX 03-3297-2615

「全国高校化学グランプリ」URL: <http://gp.csj.jp> 「夢・化学-21」URL: <http://www.kagaku21.net>